



中学校音楽部の合同チーム



南宇和高校と一本松中学校 の合同チーム発足

南宇和高校吹奏楽部の部員不足により「第69回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会」の出場が困難だったところ、同じように部員不足で過去4年間コンクールに出場できなかった一本松中学校音楽部と思いが一致して、今回の合同チームが発足しました。

コンクールに向けて

高等学校B部門は、吹奏楽連盟に加盟している中学生であれば合同チームとして出場することができ
ます。

演奏曲は、福島弘和作曲の「梁塵秘抄〜熊野古道の幻想〜」で、打楽器は和を表現し、管楽器はテンポの変化が大きく中学生には難しい曲です。

新型コロナウイルスの影響で練習が限られる中、中学生は高校生や先生方からアドバイスを受けながら、高校生は3年間の集大成になるように一生懸命に練習をして、曲を仕上げました。

第69回全日本吹奏楽コンク ール愛媛県大会

コンクールは8月2日(月)に松山市民会館で行われ、16団体が参加し、チームは9番目に演奏を行いました。目標の金賞には届きませんでしたが銀賞を受賞しました。

南高吹奏楽部の部長は、「今回は部員が少なく不安も多かったけど、一本松中の音楽部の皆さんの力を借りることができたおかげでコンクールへの参加ができ、貴重な経験ができて良かった」と話しました。

合同チームの最後を 締めくくるコンサート

8月8日(日)に、一本松交流促進センターで「夕暮れコンサート」が開催され、チームの21人が参加しました。

コンサートでは、先生や家族が見守る中、一時間にわたってコンクールでの演奏曲やポップス、クラシックなどが披露されました。

合同チームとのコンサートについて一本松中音楽部の部長は、「このコンサートで合同チームが解散してしまうのは寂しいけど、南宇和高校の皆さんと協力して演奏することができて楽しかったし、とても勉強になりました」と話しました。

南宇和高校吹奏楽部と一本松

